

(単位：千円)

第9款 消防費							
第1項 消防費							
第1目 常備消防費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	394,281	諸収 4,688	389,593	■職員58人分の給与	職員課	
2	常備消防一般事務費	38,894	使手 578 諸収 160	38,156	■常備消防に係る一般事務 ■常備消防車両・通信機器の維持管理、新規採用職員研修等	消防本部	
3	救急業務費	7,328		7,328	■災害の被害を最小限に食い止めるための業務及び救命指示センターの運営負担金等 ■本年度、救急隊員の抗体検査を実施	消防本部	
4	上林出張所費	3,553	財産 143	3,410	■上林出張所の維持管理	消防本部	
5	救急救命士育成費	3,441		3,441	■災害、事故等による傷病者の救命率向上を目的として、救急救命士を養成 ■本年度、指導救命士を養成	消防本部	
6	被服更新事業費	4,098		4,098	■消防職員の安全を確保するため、防火衣等を更新	消防本部	
7	少年少女消防クラブ事業費	127		127	■小学生を対象とする少年少女消防クラブの活動	消防本部	
8	緊急消防援助隊整備事業費	565		565	■緊急消防援助隊の出動に備え、現地活動を円滑に実施するための資機材の維持管理等	消防本部	
9	救急安心センター事業費	363		363	■京都府等が実施する救急安心センター事業への運営負担金	消防本部	消防1
	合計	452,650	5,569	447,081			

第2目 非常備消防費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	非常備消防一般事務費	31,334		31,334	■非常備消防に係る一般事務 ■消防団員報酬、非常備消防車両の維持管理等	消防本部	
2	費用弁償	8,264		8,264	■消防団長が招集する訓練に対する手当 ■実火災・風水害等の消防団員に対する出動手当	消防本部	

(単位：千円)

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
3	被服更新事業費	2,042		2,042	■消防団員の安全を確保するため、活動服及び装備品等を更新	消防本部	
4	消防団員退職報償金等	55,816	諸収 36,951	18,865	■消防団員の退職報償金及び消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金	消防本部	
5	公務災害費	4,231	諸収 2,255	1,976	■消防団員の公務災害補償費及び消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金	消防本部	
6	消防団活動支援事業費	323		323	■操法大会用資機材等を整備	消防本部	
	合計	102,010		39,206 62,804			

## 第3目 消防施設費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	消防施設維持管理費	5,710		5,710	■防火水槽等既設消防施設の維持管理、改修	消防本部	
2	消防車両整備事業費	33,978	国債 14,818 市債 14,700	4,460	■消防車両、消防ポンプの更新	消防本部	消防2
3	防災基盤整備事業費	21,638	国債 2,743 諸収 1,880 市債 17,000	15	■消防施設の充実を図るため、防火水槽を整備	消防本部	消防3
	合計	61,326		51,141 10,185			

## 第4目 水防費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	水防一般事務費	370		370	■水防に係る一般事務	消防本部	
	合計	370		370			

(単位：千円)

第5目 災害対策費								
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料	
			特定財源	一般財源				
1	災害対策費	7,296	使手 諸収	1 180	7,115	■防災会議の開催、防災関係団体・自主防災組織育成に対する補助金 ■防災行政デジタル無線の維持管理	防災・危機管理課	
2	原子力防災対策費	2,711	府	2,068	643	■原子力防災対策用車両等の維持管理等	防災・危機管理課	
3	災害時応急対策整備事業費	10,333	国	4,422	5,911	■避難所の災害備蓄品等の整備 ■本年度、ハザードマップを全面改定	防災・危機管理課	消防4
4	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業費	47,500	府	47,500		■原子力災害時の避難が円滑に行えるよう、あやべ球場周辺を整備	文化・スポーツ振興課	消防5
5	総合防災訓練事業費	1,587	国	793	794	■災害時の対応の円滑化と防災意識の啓発を図るため、総合防災訓練を実施	防災・危機管理課	
合 計		69,427		54,964	14,463			

令和2年度 当初予算 主要事業説明資料

消防1

(単位：千円)

事業名	救急安心センター事業費		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	363					363
目 的 目 標	急な疾病や負傷時における電話相談窓口を開設することにより、市民の安全・安心を確保するとともに救急車利用の適正化を推進			前年度当初予算額					
事業概要	■救急安心センターの開設 ○緊急時の救急車利用の判断に迷った際に、看護師や医師等の専門家からアドバイスを 受けられる電話相談窓口を、京都府及び府内市町村で組織する協議会が開設 ○開設時期 令和2年10月開設予定 ○24時間365日対応			背 景 ・ 経 緯	・ 救急需要が増加する中、真に救急搬送が必要な傷病者に対応するため、救急車利用の適正化が急務 ・ 国が当該事業の取組の推進を要請				
				期待される 効果	・ 傷病者への安全・安心の確保 ・ 潜在的傷病者の早期発見・救護 ・ 救急車利用の適正化 ・ 傷病者の受診行動の適正化等による医療関係者の負担軽減				
事業費 内訳	・ 負補 363 (事業負担金)			市民参加の 状況					
				他市の取組 状況	・ 府内市町村：同様の取組あり				
				担当課・ 担当	消防本部 警防課 救急担当			TEL	42-0119

# 令和2年度 当初予算 主要事業説明資料

## 消防2

(単位：千円)

事業名	消防車両整備事業費			新規	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	33,978	14,818		14,700			4,460
目 的 目 標	火災、事故等から市民の生命、身体、財産を守るため、総合的な消防防災体制の確立に努め、市民と共に安全・安心なまちづくりを推進			前年度当初予算額	特定財源の内訳					
					国補助	緊急消防援助隊設備整備費補助金		14,818		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■消防本部の消防車両の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○高規格救急自動車 1台</li> </ul> </li> <li>■配置後20年を経過した消防団用資機材の更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○小型動力ポンプ 1台 (安国寺町)</li> </ul> </li> </ul>			背 景 ・ 経 緯	・経年による老朽化が進行しているため、更新が必要					
					期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有事の際に安全で円滑な消防活動を展開</li> <li>・複雑多様化する災害に対応</li> <li>・消防団員の士気高揚</li> </ul>				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費 33 (普通)</li> <li>・役務 164 (手数料、保険料)</li> <li>・備品 33,748 (消防車両等)</li> <li>・公課 33 (重量税)</li> </ul>			市民参加の 状況						
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福知山市：毎年2台の消防団車両を更新</li> <li>・舞鶴市：毎年1～2台の消防団車両を更新</li> <li>・宮津市：配置後20年以上経過したものから更新</li> <li>・京丹後市：更新基準年数の設定なし 整備後19～20年を経過したものを更新</li> </ul>					
				担当課・ 担当	消防本部 管理課	施設担当	TEL	42-0119		
				警防課	警防第1担当					

令和2年度 当初予算 主要事業説明資料

消防3

(単位：千円)

事業名	防災基盤整備事業費		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	21,638	2,743		17,000	1,880	15	
目 的 ・ 目 標	計画的に整備を進め、消防水利の充実により、災害に強いまちづくりを推進			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				6,618	国補助	消防防災施設整備費補助金				2,743
事業概要	■防火水槽の整備 ○有蓋防火水槽 1基 (里町) ○無蓋防火水槽 1基 (旭町) ○建設用地の購入、測量等 (有岡町、味方町)			背景・経緯	・各種災害に迅速に対応できる出動体制、設備や施設の計画的な整備を行うなど、消防力の充実と維持向上が必要					
				期待される効果	・消防水利の不足している地域に防火水槽を設置することにより、充足率の向上と地域住民への安全・安心に寄与するとともに、災害発生時に迅速な対応を行うことができる環境を整備					
				市民参加の状況	・自主防災組織が各地で編成される中、新設の防火水槽の整備により、訓練参加などの機会が増加					
事業費内訳	・需用 1 (消耗) ・委託 2,000 (測量、登記) ・工請 19,159 (防火水槽) ・公財 478 (土地)			他市の取組状況	・福知山市、宮津市、京丹後市：耐震性有蓋防火水槽 2基/年 ・舞鶴市：耐震性有蓋防火水槽 1基/年					
				担当課・担当	消防本部 管理課 施設担当			TEL	42-0119	

令和2年度 当初予算 主要事業説明資料

消防4

(単位：千円)

事業名	災害時応急対策整備事業費		拡充	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進	10,333	4,422				5,911
目 的 ・ 目 標	ハザードマップの改定による、住民への災害リスクの周知と防災対策意識の高揚 府戦略的地震防災対策推進プランによる重点備蓄品目（食料、水、毛布等）の計画的な備蓄			前年度当初予算額					
				1,408					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■土砂災害ハザードマップの全面改定及び印刷                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○印刷部数 19,000部</li> </ul> </li> <li>■備蓄食料及び保存水の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○アルファ化米 3,000食</li> <li>○保存水（500ミリリットル） 2,112本</li> </ul> </li> <li>■土のうステーションへの土のう補充                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○土のう袋 400枚</li> <li>○真砂土 6.0㎡</li> </ul> </li> </ul>			背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・府の管理河川の想定最大規模降雨時における洪水浸水想定区域図等の公表を受け、ハザードマップの見直しが必要</li> <li>・府戦略的地震防災対策推進プランによる重点備蓄品目について府と本市とが共同で1/2ずつ備蓄</li> <li>・近年多発する局地的かつ短時間の大雨による浸水被害の発生</li> </ul>				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップによる災害リスクの周知を通じた避難行動の確認や防災対策意識の高揚</li> <li>・一定量の資材備蓄による避難所運営の円滑化</li> <li>・浸水被害の未然防止及び軽減</li> </ul>				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用 1,455（消耗、食糧）</li> <li>・委託 8,844（ハザードマップ）</li> <li>・原材 34（材料）</li> </ul>			市民参加の 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災活動等でのハザードマップの活用</li> <li>・避難所の運営協力</li> <li>・市民、消防団及び自主防災会等の自助、共助</li> </ul>				
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府内市町村：同様の取組あり</li> </ul>				
				担当課・ 担当	防災・危機管理課 防災・危機管理担当	TEL	42-4222		

# 令和2年度 当初予算 主要事業説明資料

## 消防5

(単位：千円)

事業名	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業費			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進		47,500		47,500			
						特 定 財 源 の 内 訳				
						府補助	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業費補助金			47,500
目 的 目 標	総合的な防災対策と危機管理体制の強化に努めるとともに防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりを推進				前年度当初予算額					
					13,000					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国、京都府及び福井県と連携し、避難経路上の課題改善を図るため、あやべ球場周辺を整備</li> <li>○事業期間：令和元年度～令和2年度</li> <li>○事業内容（令和2年度実施分）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやべ球場周辺に、避難時のバス待機場所を確保するため通路を整備</li> <li>・砕石舗装 A=689.0㎡</li> <li>・避難者のスクリーニング等を行うための防災照明を整備</li> <li>・照明整備 2基</li> </ul> </li> </ul>				背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府が定める高浜地域及び大飯地域の緊急事態対応において、舞鶴若狭自動車道綾部パーキング及びあやべ球場が、福井県の避難退域時検査場所候補地の一つに選定</li> <li>・夜間のスクリーニング実施も想定されるため、あやべ球場内の照明の整備が必要</li> <li>・原子力災害時の住民等の円滑な避難や一時移転を確保するため、平成30年4月に創設された原子力災害時避難円滑化モデル実証事業を活用</li> </ul>				
					期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難退域時検査場所での交通渋滞緩和による検査の効率化と避難の円滑化の促進</li> </ul>				
事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託 3,008（設計）</li> <li>・工請 44,492（舗装・照明整備）</li> </ul>				市民参加の状況					
					他市の取組状況					
					担当課・担当	文化・スポーツ振興課 文化・スポーツ振興担当			TEL	42-4356